令和７年８月４日　*vol. 18*

「どこか似ているあなたへ」

県立神戸高等学校長
新谷　浩一

○　総合理学科の学校説明会で私が伝えたかったこと

終業式からちょうど１週間が過ぎた金曜日は、総合理学科の学校説明会でした。１学年 40 人の募集定員に対し、説明会に訪れてくれた中学生、保護者は 350 人強。みなが汗を拭きながら地獄坂を登ってきてくれました。ここ最近は効きの悪かった講堂の空調も事務室の方々のご尽力により部品交換を何とか終え、いい環境が整いました。会の冒頭、ありがたいことに開会のマイクを任せてもらえた私はこんなふうに話をしました。

本日は酷暑のなか、またたいへんお忙しいなか、お集りいただきありがとうございます。とても嬉しいです。
さて、私は４月に校長として赴任したところですが、この学校に通う生徒達の溢れんばかりのエネルギーが大好きです。時間さえあれば、ずっとその姿を見ています。また、その生徒達をさらに伸ばそうと取り組んでくれる先生方を誇りに思っています。そして、この学校の学びを信頼してくださる保護者の方々に感謝しています。

とは言え、私がどんなに言葉を尽くしたところで本校の魅力を語りつくすことはできません。「百聞は一見に如かず」と言います。皆さんには総合理学科の生徒のありのままの姿を見てもらえればいいな、そう思っています。３年生の言葉や課題研究の発表をしっかりと聴いてもらえればいい、そう思っています。それこそが真実であり、それこそが中学生の皆さんの３年後の姿かもしれないからです。どうかしっかり目に焼き付けてください。
それでは、「春の日にまたここで会えたら嬉しいです」という言葉をもって、私からの開会挨拶といたします。

総合理学・探究部部長の向江先生に総合理学科の学びをわかりやすく説明していただいたあとは、生徒たちの出番です。シンガポール研修やサイエンス入門などについて３年生が自分たちの言葉を用いて総合理学科で学ぶ喜びをしっかりと語ってくれました。また、説明会の前後には全８班が各教室に別れて、探究活動の成果を発表してくれました。お疲れさまでした。

それにしても神戸高校の夏は忙しいですね。夏季補習は３年生だけでも 40 講座に延べ 1300 人が集まってくれています。１、２年生の講座をあわせると全部で 60 講座ですかね。しかも講座の前後は職員室に質問に来る生徒の姿が絶えないため、とても賑やかです。新しい自治会メンバーは第 78 回の体育大会や音楽会の準備に奔走してくれています。そのうえ通常の部活動ですもんね。

時間さえあれば部活動は見せていただいています。先月中旬は兵庫高校と合同の水泳部夏季記録会。保護者の方やＯＢ会の方のあたたかい応援も印象的でしたが、それにもまして印象的であったのが部員全員の心の配りようですね。自校部員へはもちろん、兵庫高校の部員にも声援を送っていました。井上先生、岡村先生、水泳部の雰囲気は良いですね。

月末には創部 103 年を誇る天王寺高校と創部 99 年の本校ラグビー部の定期戦。試合中の「神戸　圧倒しようぜ」といった掛け声どおりの勝ち試合を見せてくれました。ひとりひとりの心のこもったプレイや榎本先生からの的確な指示、部員を鼓舞する埜田先生の姿も印象的でした。伝統、繋がりましたね。くわえて真夏の太陽の下、給水準備や怪我の応急処置に休む間もなく奔走するマネージャーの姿からは目が離せませんでした。

とは言え、誰もが思い通りの夏、とはいかないものです。躓き、悩んでいる人も中にはいるかもしれません。

「おまえもそうだったよな。秋の文化祭で公開する映画製作を口実に、おまえは殆ど受験勉強から逃げていた。９月がきて、覚悟を決めるまでのおまえは言い訳ばかり。でも、そんなおまえだから言えるんじゃないのか。『その気になれば君はできる。自分を信じてみようか』って」
40 年前の私は、どこか似ているあなたへ、今はそう伝えたいらしいのです。心から。